

景気動向指数
平成 24 年 6 月分（速報）の概要

6月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：92.6、一致指数：93.8、遅行指数：86.9となった。（注）

先行指数は、前月と比較して2.6ポイント下降し、3ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.33ポイント下降し、2ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.10ポイント下降し、9ヶ月振りの下降となった。

一致指数は、前月と比較して2.0ポイント下降し、3ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.17ポイント下降し、7ヶ月振りの下降、7ヶ月後方移動平均は0.20ポイント上昇し、9ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.4ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.24ポイント上昇し、11ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.39ポイント上昇し、26ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。

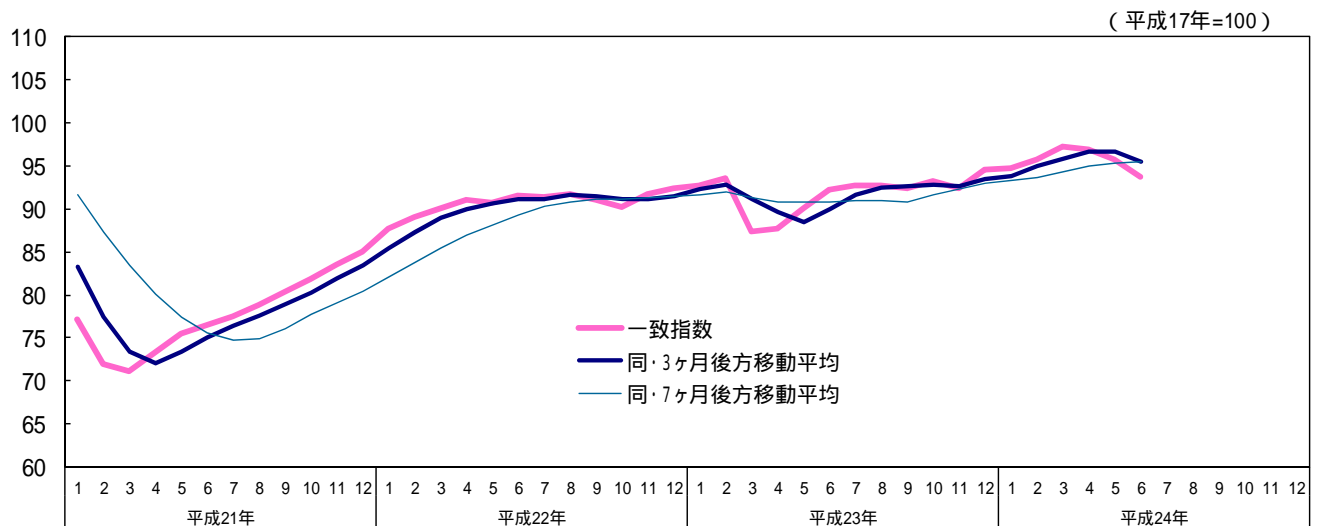
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.14	C4：耐久消費財出荷指数	-0.35
		C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.33
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.33
		C3：大口電力使用量	-0.30
		C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.27
		C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.21
		C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.15
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.07
		C1：生産指数(鉱工業)	-0.03

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。